

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 5 部門第 3 区分
【発行日】平成 17 年 5 月 12 日 (2005.5.12)

【公表番号】特表 2001-519018 (P2001-519018A)
【公表日】平成 13 年 10 月 16 日 (2001.10.16)
【出願番号】特願平 10-543613
【国際特許分類第 7 版】

F 2 4 D 5/08

F 2 4 H 3/08

【F I】

F 2 4 D 5/08 Z

F 2 4 H 3/08 B

【手続補正書】
【提出日】平成 16 年 8 月 3 日 (2004.8.3)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】補正の内容のとおり
【補正方法】変更
【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成16年8月3日



特許庁長官 小川 洋 殿

1 事件の表示 平成10年 特許願 第543613号

2 補正をする者

住所 イギリス国, アールエイッチ10 3エイッチエー ウェスト
サシックス, カプソウン, ニュー ドウムウッド,
ヘロンズ リー, オウクリッジ

名称 ジョウンズ, フィロメナ, ジョウン

3 代理人

住所 東京都港区芝二丁目17番11号 パーク芝ビル4階

電話 03-5443-8461

氏名 8383 弁理士 石川 泰男



4 補正対象書類名

明細書

5 補正対象項目名

特許請求の範囲

6 補正の内容

別紙の通り



請 求 の 範 囲

1. 下方の空間に放射加熱及び吹出し温風加熱の両方を提供可能なスペースヒータにおいて、

燃焼管を配置すべきチャンネルを規定する窪んだ底面を有するハウジングと、

前記燃焼管の第1端部に通じるバーナーと、

前記燃焼管と通じ、燃焼ガスを前記燃焼管を通じて前記第1端部から第2端部へ移動させる第1のファン手段と、を備え、

前記ハウジングは、

前記ハウジングの上面に設けられ、前記第2のファン手段と通じて空気をハウジング内の前記チャンネルへ向ける開口と、

前記燃焼管と前記開口との間に配置され、前記燃焼管の上面を取り囲む形状を有し、前記燃焼管からの放射を吸収すると共に前記開口からの空気が前記燃焼管に直接的に当たることを防止する熱交換プレートと、を有し、

前記空気は、前記チャンネルの下端部を通過して下方へ通り抜ける前に前記熱交換プレートにより加熱されるスペースヒータ。

2. 前記ハウジングの窪んだ底面は内部に配置された1つ以上の燃焼管を有し、前記燃焼管の各々は2つ以上の支部を有し、メインの第1の支部は一端において前記バーナーと接続されると共に、前記バーナーから遠い方の端部において前記メインの第1の支部と実質的に平行である1つ以上の戻り支部に接続されている請求項1に記載のスペースヒータ。

3. モジュールの形態を有し、1組の端部モジュールと1つ以上の

中間モジュールとを有し、前記端部モジュール及び中間モジュールはヒータを構成するように相互連結可能であり、前記端部モジュールの少なくとも1つはバーナーを有し、前記端部モジュールの少なくとも1つは第1のファン手段を有し、各中間モジュールは燃焼管及び前記熱交換プレートの中間部分を内部に含む前記ハウジングの中間部分を有し、前記ハウジングの中間部分はその上面に開口を有し、前記開口は第2のファン手段と通じて空気をハウジング内のチャンネルに向ける請求項1又は2に記載のスペースヒータ。